



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日  
上場取引所 東

上場会社名 サンヨーホームズ株式会社  
 コード番号 1420 URL <https://www.sanyohomes.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 久志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 福井 江治 TEL 06-6578-3403  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,899	△5.2	△997	—	△993	—	△696	—
2022年3月期第1四半期	7,278	—	△1,065	—	△1,067	—	△754	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △696百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △753百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△62.89	—
2022年3月期第1四半期	△68.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	44,172	14,060	31.8	1,269.43
2022年3月期	46,886	15,048	32.1	1,358.62

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 14,060百万円 2022年3月期 15,048百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,800	△2.6	600	9.3	570	4.5	350	7.3	31.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	12,620,000株	2022年3月期	12,620,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,543,988株	2022年3月期	1,543,988株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	11,076,012株	2022年3月期1Q	11,047,887株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式（2023年3月期1Q 584,247株、2022年3月584,247株）が含まれております。また、役員向け株式給付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期1Q 584,247株、2022年3月期1Q 262,372株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報.....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、2022年3月の新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の終了にともない、経済活動への制限が順次緩和され回復傾向が続いております。一方で、サプライチェーンの混乱、急激な円安や資源・エネルギー価格上昇による原材料や物流コストの上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましても、金融緩和政策の継続はあるものの住宅ローン金利は上昇傾向にあり、住宅資材価格等についても上昇しており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、5月には毎年恒例の「エコ&セーフティ住宅まつり」をリアルとウェブを融合し開催しました。また、7月には第19回目となる「子どもECO絵画コンクール」を実施し、人と地球がよろこぶ住まいをスローガンとして地球環境を重視した活動を実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績については、売上高6,899百万円（前年同期比5.2%減）、営業損失997百万円（前年同期比68百万円改善）、経常損失993百万円（前年同期比73百万円改善）、法人税等調整額（益）311百万円を計上し親会社株主に帰属する四半期純損失696百万円（前年同期比58百万円改善）となりました。

当社グループの業績は、住宅事業およびマンション事業において、引渡し時期を顧客の要望に対応していることや、マンションの竣工引渡し時期の影響により、売上の計上時期が第2四半期と第4四半期に集中するといった季節的変動があります。

#### (セグメント別の概況)

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

戸建住宅におきましては、エコ・ファースト認定企業としての更なる取り組みとして、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）水準を上回る基準値を4月より標準仕様としております。なお、当第1四半期連結会計期間のZEH比率は100%（前年度92%）を達成しております。

賃貸・福祉住宅におきましては、前期に引続き脱炭素社会の実現に向け、賃貸集合住宅にてもZEHを標準化し普及に努めております。また、土地オーナー様を「土地活用倶楽部」として組織化し、税務等の相談会や事業者とのマッチング等を実施する事で、賃貸住宅や店舗・施設等の様々な土地活用提案を行っています。当第1四半期連結会計期間のZEH比率は90%となりました。

リフォームにおきましては、「春のリフレッシュフェア」を開催し、省エネ診断と環境省認定の「うちエコ診断士」がおこなう「うちエコ診断」を通して、こどもみらい住宅支援事業や長期優良住宅化リフォーム推進事業等に注力しました。

リニューアル流通(既存住宅流通)におきましては、断熱性や耐震性を含めた総合的なリノベーションを提案し、高品質で安心な中古住宅流通に注力しました。

フロンティア事業におきましては、サンヨーアーキテック株式会社にて太陽光、蓄電池等のエコ・エネルギー設備の販売にとどまらず、当社軽量鉄骨技術を生かした鉄骨構造躯体の販売、請負に注力しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の住宅事業の経営成績につきましては、売上高4,397百万円(前年同期比16.8%増)、営業損失492百万円(前年同期比23百万円改善)となりました。

マンション事業におきましては、当第1四半期においては新規の竣工物件、販売開始物件はなく、当期竣工予定の「ローレルコート亀岡駅前」（京都府亀岡市：96戸）、「サンメゾン三国ヶ丘レジデンス」（大阪府堺市：82戸）の販売、施工に注力するとともに完成済物件や、2024年3月期竣工予定物件の「サンメゾンなかもず駅前」（大阪府堺市：68戸）の販売開始に向けて販売準備にも注力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間のマンション事業の経営成績につきましては、売上高1,522百万円(前年同期比41.2%減)、営業損失255百万円（前年同期比3百万円悪化）となりました。

ライフサポート事業におきましては、マンション管理、介護・保育施設運営、寄り添いロボットの開発・販売等の生活支援サービスや地方創生を担っており、4月には「サンフレンズ」保育園1施設を新規開園、6月には3ヶ所となるリハビリ型デイサービス施設「サンアドバンス大日」をオープンしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のその他事業の業績は、売上高979百万円（前年同期比5.7%増）、営業損失69百万円（前年同期比7百万円悪化）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は44,172百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,714百万円の減少となりました。主な要因は、繰延税金資産302百万円の増加、現金及び預金1,108百万円、受取手形・完成工事未収入金等1,064百万円、販売用不動産998百万円の減少等によるものです。

負債総額は30,112百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,726百万円の減少となりました。主な要因は、前受金170百万円の増加、支払手形・工事未払金等889百万円、長・短借入金238百万円、未成工事受入金230百万円の減少等によるものです。

純資産総額は14,060百万円となり、前連結会計年度末と比較し987百万円の減少となりました。主な要因は、利益剰余金988百万円の減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,038,497	7,930,460
受取手形・完成工事未収入金等	2,572,912	1,507,929
販売用不動産	16,790,462	15,792,223
仕掛販売用不動産	12,356,270	12,367,397
未成工事支出金	139,358	183,875
その他の棚卸資産	195,441	186,449
前払費用	334,065	408,252
その他	368,526	399,843
貸倒引当金	△5,000	△5,000
流動資産合計	41,790,534	38,771,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,678,767	1,655,327
土地	980,243	980,243
その他(純額)	42,956	64,043
有形固定資産合計	2,701,967	2,699,613
無形固定資産		
ソフトウェア	47,497	50,116
その他	38,032	34,732
無形固定資産合計	85,529	84,849
投資その他の資産		
投資有価証券	31,340	31,340
繰延税金資産	793,166	1,096,073
その他	1,488,420	1,492,737
貸倒引当金	△4,068	△3,260
投資その他の資産合計	2,308,858	2,616,890
固定資産合計	5,096,355	5,401,353
資産合計	46,886,890	44,172,785

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,038,438	3,149,391
短期借入金	6,470,000	5,410,000
1年内返済予定の長期借入金	2,633,000	2,720,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払費用	470,267	386,835
未払法人税等	143,799	25,351
未成工事受入金	4,091,403	3,860,946
前受金	190,046	360,077
賞与引当金	218,315	172,316
完成工事補償引当金	105,400	106,000
その他	967,283	665,332
流動負債合計	19,427,955	16,956,252
固定負債		
長期借入金	10,071,000	10,806,000
社債	400,000	400,000
繰延税金負債	24,492	16,478
役員株式給付引当金	155,560	163,239
役員退職慰労引当金	15,283	9,533
退職給付に係る負債	1,359,483	1,372,177
その他	385,061	388,863
固定負債合計	12,410,881	13,156,292
負債合計	31,838,836	30,112,544
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,945,162	5,945,162
資本剰余金	3,600,398	3,600,398
利益剰余金	6,575,630	5,587,502
自己株式	△1,059,181	△1,059,181
株主資本合計	15,062,009	14,073,881
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△13,955	△13,640
その他の包括利益累計額合計	△13,955	△13,640
純資産合計	15,048,053	14,060,240
負債純資産合計	46,886,890	44,172,785

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	7,278,789	6,899,060
売上原価	6,148,266	5,902,074
売上総利益	1,130,523	996,985
販売費及び一般管理費	2,196,501	1,994,033
営業損失(△)	△1,065,978	△997,047
営業外収益		
受取利息	1,870	1,500
受取賃貸料	9,527	9,596
助成金収入	21,970	23,617
その他	14,405	1,938
営業外収益合計	47,773	36,652
営業外費用		
支払利息	33,592	30,995
その他	15,728	2,476
営業外費用合計	49,321	33,471
経常損失(△)	△1,067,526	△993,866
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,067,526	△993,866
法人税、住民税及び事業税	82,215	13,815
法人税等調整額	△394,879	△311,060
法人税等合計	△312,664	△297,244
四半期純損失(△)	△754,862	△696,621
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△754,862	△696,621

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△754,862	△696,621
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	1,273	314
その他の包括利益合計	1,273	314
四半期包括利益	△753,589	△696,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△753,589	△696,306
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	マンション 事業	計				
売上高							
関東	682,634	1,641,727	2,324,361	—	2,324,361	—	2,324,361
中部	497,727	223,682	721,409	—	721,409	—	721,409
近畿	1,563,853	320,043	1,883,897	—	1,883,897	—	1,883,897
九州	767,726	385,093	1,152,819	—	1,152,819	—	1,152,819
その他(区分外)	198,796	—	198,796	922,875	1,121,672	—	1,121,672
顧客との契約から生じる 収益	3,710,738	2,570,545	6,281,284	922,875	7,204,160	—	7,204,160
その他の収益	52,712	18,167	70,879	3,748	74,629	—	74,629
外部顧客への売上高	3,763,450	2,588,713	6,352,164	926,625	7,278,789	—	7,278,789
セグメント間の内部売上 高又は振替高	13,249	540	13,789	4,769	18,558	△18,558	—
計	3,776,700	2,589,253	6,365,953	931,395	7,297,348	△18,558	7,278,789
セグメント損失(△)	△515,859	△252,160	△768,020	△62,448	△830,468	△235,510	△1,065,978

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフサポート等に関連する全地域を一括管理しているものであります。

2. セグメント損失の調整額△235,510千円の内容は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	マンション 事業	計				
売上高							
関東	679,126	568,282	1,247,409	—	1,247,409	—	1,247,409
中部	818,390	84,334	902,725	—	902,725	—	902,725
近畿	1,964,240	563,797	2,528,037	—	2,528,037	—	2,528,037
九州	543,880	279,442	823,322	—	823,322	—	823,322
その他(区分外)	340,753	—	340,753	971,568	1,312,322	—	1,312,322
顧客との契約から生じる 収益	4,346,391	1,495,857	5,842,249	971,568	6,813,817	—	6,813,817
その他の収益	50,848	26,287	77,135	8,106	85,242	—	85,242
外部顧客への売上高	4,397,239	1,522,144	5,919,384	979,675	6,899,060	—	6,899,060
セグメント間の内部売上 高又は振替高	837	540	1,377	1,815	3,193	△3,193	—
計	4,398,077	1,522,684	5,920,762	981,491	6,902,253	△3,193	6,899,060
セグメント損失(△)	△492,146	△255,259	△747,406	△69,460	△816,866	△180,180	△997,047

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフサポート等に関連する全地域を一括管理しているものであります。

2. セグメント損失の調整額△180,180千円の内容は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第26期第2四半期連結会計期間より、フロンティア事業であるサンヨーアーキテック(株)にて施工と部材を一体とした、いわゆる住宅請負の営業活動を本格的に実施したことにより、経営管理区分の見直しを行っています。このため、従来「その他」に含めていたフロンティア事業を「住宅事業」へ区分変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

## 3. 補足情報

## ①受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
住宅事業	5,236,136	90.9	14,384,612	111.7
マンション事業	3,348,016	65.6	7,999,856	68.4
その他	979,675	94.7	—	—
合計	9,563,828	80.4	22,384,469	91.1

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。  
2. 「その他」は売上高と同額を受注高としており、受注残高はありません。

地域別受注高については、次のとおりであります。(単位：千円)

関東地方	中部地方	近畿地方	九州地方	合計
2,012,537	793,609	4,930,168	1,827,513	9,563,828

## ②販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高 (千円)	前年同期比 (%)
住宅事業	4,397,239	116.8
マンション事業	1,522,144	58.8
その他	979,675	105.7
合計	6,899,060	94.8

- (注) セグメント間取引については相殺消去しております。